

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど
 よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2017年9月15日（金）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6839 2	肺癌ALKタンパク (IHC) D5F3 5D594-0000-070-666	未染標本 スライド 4枚	Z10 (t)	室温	5~10	2700 ※7	免疫組織化 学染色法		&D

※7 病理判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただく予定です。

項目コード	項目名	受託中止日
6405 2	ALKタンパク(高感度IHC)	2017年10月13日（金） ご依頼分をもって受託中止

● 肺癌ALKタンパク (IHC) D5F3

クリゾチニブまたはセリチニブの非小細胞肺癌患者への適応を判定することを目的とした検査です。

肺癌は世界のがんによる死因者数の第一位を占める疾患です。非小細胞肺癌(NSCLC)の重要なバイオマーカーの一つに未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)融合遺伝子があります。ALK融合遺伝子は、EGFR遺伝子とは相互排他的な肺がんのドライバー遺伝子であり、非小細胞肺癌の約3~5%に認められ、若年者、非喫煙者や腺癌に多いという報告がなされています。

本検査は、ALK融合遺伝子が関与するALKタンパクの異常な発現をとらえ、ALK阻害剤であるクリゾチニブまたはセリチニブ適応の非小細胞肺癌患者への適応を判定することを目的としています。

▼ 疾患との関連

非小細胞肺癌

▼ 関連する主な検査項目

EGFR 変異解析v2.0
 肺癌PD-L1タンパク(IHC)22C3 肺癌PD-L1タンパク(IHC)28-8
 ROS1融合遺伝子定性 ROS1融合遺伝子定性 (FFPE)

▼ 検査要項

検査項目名	肺癌ALKタンパク (IHC) D5F3
項目コードNo.	6839 2
検体量	未染標本スライド 4 枚
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	5~10 日
検査方法	免疫組織化学染色法
検査実施料	2700点 (N002 免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製「6」)
判断料	150点 (病理判断料)

<提出方法>

- 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書 (コピー) の添付をお願いいたします (ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です)。なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名 (組織型等) の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。
- 2) 材料は非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックから作製された未染標本スライドとなります。スライドはPoly-L-lysineまたはシラン等のコーティングしたスライドをご使用ください。
- 3) 組織切片は4 μmの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご提出ください。
- 4) パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。

● 参考文献

名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版 (学際企画): 147~150, 2002. (検査方法参考文献)
 Soria JC, et al: Lancet 389 (10072): 917~929, 2017. (臨床的意義参考文献)